



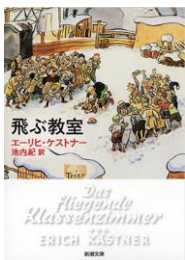
# 図書館通信

最上校図書委員会 No.18 12月6日

## 12月図書館企画 クリスマス特集

### 「大切な人に贈りたい本！」

いつまでも心に残る物語を大切な人におすすめしてみませんか？ふとした瞬間に思い出すあの一節を、誰かと共有できたら嬉しいですね。本を手にする機会が減っている今だからこそ、改めて読んで欲しい名作をご紹介します。



#### 「飛ぶ教室」 エーリッヒ・ケストナー著

クリスマス前の寄宿学校では、生徒たちが創作劇『飛ぶ教室』の稽古をしていました。ところが敵対している学校の生徒に同級生が拉致されてしまいます！救出に向かう生徒たちですが、一体どんなクリスマスを迎えるのでしょうか？

#### 「十二番目の天使」 オグ・マンディーノ著

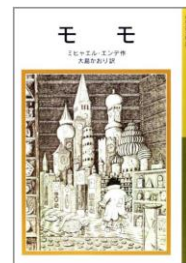
ジョンは愛する家族を事故で亡くし、自殺しようとしていました。止めに入った幼馴染に、少年野球のコーチをしないかと誘われます。身体の小さな少年ティモシーとの出会いをきっかけに、人生の輝きを見つけ出す物語です。

#### 「星の王子さま」 サン・テグジュペリ著

乗っていた飛行機が故障し、サハラ砂漠の真ん中に不時着してしまった僕は、遠い小さな星から訪れた小さな王子さまと出会います。宇宙を旅してきた王子さまの話を聞く内に、本当に大切なものの真実に気が付く物語。

#### 「モモ」 ミヒャエル・エンデ著

モモは不思議な力を持っており、街の人にとってかけがえのない存在です。ある日、街に灰色の男たちが現れ、町の人々から時間が奪われてしまいました。大切な時間を取り戻すため、モモは灰色の男たちに立ち向かいます。



## クリスマスツリー点灯



今年度、図書委員からの要望でクリスマスツリーを図書館前と館内に設置しました。大江さんから、グラウンドの本物のもみの木を取っていただくことができました。皆さんにクリスマスカードを書いてもらい、願いが叶うようにツリーに飾ることが出来ました。願いが叶いますようにお祈りします。ツリーを見学に来て、是非、図書館から本を借りて下さい。図書委員一同、お待ちしております！！



## オススメの本「お楽しみ福袋」貸出

残り **6袋** になりました。

今年度からの試みで、2回目になります。1袋、2冊、20組を用意しました。ジャンルや作家に好みがあると思いますが、人にすすめられた本を読んでも面白いと思います。図書委員がオススメの本を厳選して用意しました。どんな本が入っているかは、

借りてからの楽しみ！



## 冬季休業中にオススメの新刊！



### 「月下のサクラ」 柚月裕子著

自分の能力を最大限に発揮し、事件を解決に導く。泉は早速当て逃げ事件の捜査を始める。そんな折、会計課の金庫から約一億円が盗まれていることが発覚した。メンバー総出で捜査を開始するが、犯行は内部の者である線が濃厚で、やがて殺人事件へと発展してしまう。

### 「琥珀の夏」 辻村深月著

小学生の頃に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿。そこには自主性を育てるために親と離れて共同生活を送る子どもたちがいて、学校ではうまくやれない法子も、合宿では「ずっと友達」と言ってくれる少女に出会えたのだった。幼い日の友情と罪があふれだす。

### 「仮面」 伊岡瞬著

行方不明となった新田文菜の捜査にあたる刑事の宮下と小野田は、文菜と璃名子の不審なつながりに気づく。人気評論家の三条は二つの事件に関わっているのか？ 宮下たちは捜査を進めるが？

### 「これはただの夏」 燃え殻著

青春は遙か彼方へ過ぎ去り、自分より好きだった人はもういない。なんとなく独身で、テレビ制作会社の非人道的な労働環境下で働いてきた夏、ボクにバグが起きる。その瞬間、手にしたかったものが目の前を駆け抜けたような気がした。「この切なさは事件だ」とネットと文学界をザワつかせた。切なさとは事件はつづく！

### 「ガラスの塔の殺人」 知念実希人著

雪深き森で輝くガラスの尖塔。この建築物で事件が起こる。謎を追うのは名探偵と医師。著者初の本格ミステリ。



### 「変な家」 雨穴著

間取り図に謎の空間が存在している。そこかしこに奇妙な違和感が存在する。謎の空間、二重扉、窓のない子供部屋、間取りの謎をたどった先に見た、事実とは？ 不可解な間取りの真相は？ 突如消えた元住人は一体何者？ 全ての謎が解き明かされる！

### 「花束は毒」 織守きょうや著

畏、また畏。100%騙される、戦慄ミステリ！ 結婚をやめろとの手紙に怯える元医学生の実壁。彼には、脅迫者を追及できない理由があった。そんな実壁を助きたい木瀬は、探偵に調査を依頼する。探偵・北見理花と木瀬の出会いは中学時代。彼女は探偵見習いを自称して生徒たちの依頼を請け負う少女だった。あの時、彼女がもたらした「解決」は今も僕の心に棘を残している。大人になった今度こそ、僕は違う結果を出せるだろうか？ 背筋が寒くなる真相に、ラストに残る深い問いかけに、悲鳴と称賛続出の傑作。

### 「兇人邸の殺人」 今村昌弘著

紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と剣崎比留子が突然の依頼で連れて行かれた先は、生ける廃墟として人気を博す地方テーマパークだった。園内にそびえる異様な建物、兇人邸に、比留子たちが追う班目機関の研究結果が隠されているという。深夜、依頼主たちとともに兇人邸に潜入した二人を、異形の存在の無慈悲な殺戮が待ち受けていた。

### 「原因において自由な物語」 五十嵐律人著

謎を解かなければ。私は作家なのだから。人気作家・二階堂紡季には、誰にも言えない秘密があった。露呈すれば、すべてを失う。しかし、その秘密と引き換えにしても、書かねばならない物語に出会ってしまう。

### 「霧をはらう」 雫井脩介著

病院で起きた点滴死傷事件。入院中の4人の幼い子どもたちにインスリンが混入され、2人が殺された。逮捕されたのは、生き残った女兒の母親。人権派の大物弁護士らと共に、若手弁護士の伊豆原は勝算のない裁判に挑む！ 弁護士の信念とは？

